

News Release

アクセンチュア、戦略コンサルティングと アウトソーシング能力を統合した専任組 織を設立 「バリュー・アウトソーシング」 を本格展開

アクセンチュア株式会社（代表取締役社長：村山徹、本社：東京都港区）は、11月1日、アプリケーションシステムのアウトソーシング・サービスを強化するため、新たに「アウトソーシング ケイパビリティ グループ」を設立します。

2007年問題やメインフレームからオープンシステムへの移行、新ERPの導入など、企業の情報システムの運用・保守は人的スキル面でもシステムの機能面でも転換期にあるなか、硬直した運用体制から脱却できずにいる企業も多くあります。欧米では、このようなスキル不足やシステム機能の硬直化を克服するために、海外のオフショア拠点を活用したアウトソーシングが急速に普及しています。今回の新グループの設置は、こうした海外の流れを受け、日本でも急速に拡大しているアウトソーシングのニーズにいち早く対応するものです。

同社が提供する「バリュー・アウトソーシング」とは、アプリケーションシステム開発後に硬直化するコスト構造を抜本的に改善し、さらに、アクセンチュアのハイバリュー・コンサルティングサービスを活用して、継続的に業務効率の改善を図るためのサービスです。欧米で盛んに行われているこのサービスは、アクセンチュアが全世界に保有するオフショア拠点を活用し、独自の метод論により、既存の情報システムの運用・保守・拡張等業務のコスト効率と品質を短期間で改善するものです。

アプリケーションシステムのアウトソーシングは、業務ノウハウなどの移行が難しく、特殊かつ多様な能力を要するため、同グループは、アクセンチュアの海外での実績と知識（現在34カ国約600の顧客にサービスを提供中）をシームレスに活用できるよう、アクセンチュア本社直轄のグローバル組織となります。アクセンチュア株式会社では、これまでBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）を提供してきましたが、今回のグローバル組織の新設により、アプリケーション・アウトソーシングのサービス提供力を一層強化することになります。特に、自社開発したアプリケーションシステム以外に、他社が開発したアプリケーションシステムの保守運用・保守・拡張等の業務を組織ごと引き受け、顧客の業務効率をより高めることに役立っていきたいと考えています。同グループは、海外オフィスから経験のあるスタッフを加えて30人体制でスタートし、今後数年間で70名規模にまで増強する予定です。

アクセント株式会社では、日本におけるアウトソーシング事業の全体に占める割合を、現在の 10%程度から数年で 30%以上までに伸ばすことを目標としています。

【バリュー・アウトソーシングの仕組み】

「アウトソーシング ケーパビリティ グループ」は、アクセントの5つの産業分野グループに属するシニアエグゼクティブと、その産業グループからは独立した「バリュー・アウトソーシング」の提供モデルを企画提案する「ハイバリュー・コンサルティングチーム」、およびアウトソーシングを設計から安定したサービス提供に持ちこむ「モバイルゼーション」チームから構成されます。「モバイルゼーション」は、対象となるアプリケーションシステムを見極め、短期間で業務移行を行い、目に見える形で運用・保守を行うための仕組みを作り上げるための当社独自の手法です。実際の案件チームは、この専任チームと分野別のコンサルタントが共同で実行することになります。

概要図



アクセントチュアについて

アクセントチュアは、経営コンサルティング、テクノロジー・サービス、アウトソーシング・サービスを提供するグローバル企業です。民間企業や官公庁のお客様がより高いビジネス・パフォーマンスを達成できるよう、お客様と協力して革新の実現に取り組んでいます。アクセントチュアは、各業界や業務プロセスに関する高度な専門知識、世界で蓄積された実績や資産をもとに、最適な人材、スキル、そしてテクノロジーを活用し、お客様の経営効率をさらに改善します。世界 48 カ国に約 12 万 3 千人の社員を擁するアクセントチュアは、2005 年 8 月 31 日を期末とする 2005 会計年度の売上高が、約 155.5 億 US ドルでした（2001 年 7 月 19 日 NYSE 上場、略号：ACN）。

アクセントチュアの詳細は

www.accenture.com を、

アクセントチュア株式会社の詳細は

www.accenture.com/jp をご覧ください。

アクセントチュア株式会社 広報デスク

株式会社バーソン・マーステラ

田中・和佐田

03-5771-9484

Accenture_PR@jp.bm.com